

2015(平成27)年度

# 事業計画書

## 【高齢者福祉サービス部門】

特別養護老人ホーム柏松苑

地域密着型特別養護老人ホーム穂の香

村田町デイサービスセンター

谷山介護支援センター



社会福祉法人 柏松会

特別養護老人ホーム柏松苑  
特別養護老人ホーム柏松苑別館穂の香  
施設長 飯野 隆 敬

- 1) これからの介護保険制度は、高齢者を在宅で支える新たな社会システムに変換を果たしつつ、少子高齢化・人口減少という厳しい条件下でも持続可能な制度（少ない財源で効率的に効果が得られる制度）に仕様変更することが緊要とされています。

実際、今回の制度改正では、昨年6月に成立した「医療介護総合確保推進法」のガイドラインに従い、一部の予防給付（通所介護、訪問介護）の総合事業への移行、特別養護老人ホームの入所対象者の限定（原則要介護3以上）、高所得者の自己負担額の引き上げ（2割負担）、補足給付の要件変更（資産追加）等が盛り込まれ、かつてない給付の縮小と効率化、費用負担の公平化が施されました。

しかしながら、事業者の多くはこうした法改正の諸々より同時に改定された「介護報酬」に注意が引きつけられ、相当の衝撃をもってその結果を受け止めたのではないのでしょうか。なかでもユニット型以前の古い特養にとっては、多床室の一単価あたりの改定率がマイナス約6%、従来型個室でも6%弱という、この制度始まって以来の容赦なき改定となりました（多床室での年間収益が1億6千万円だった場合、▲6%による減収は9,600,000円です）。

一方、デイサービスの改定率も尋常ではなく、通常規模のデイが▲約5%、小規模デイは▲9%、予防デイに至っては▲20～22%という過去最大のマイナス改定が示され、今後の事業継続に影響を及ぼしかねないほどの減額幅となっています。

この数字は、長年地域で粛々と事業を営んできた老舗の社会福祉法人や小粒の介護事業者がいかにかに経営努力をしても経常利益の減収はもはや避けられない事態であることを意味しています。昨今取り沙汰されている内部留保問題がこの改定に少なからぬ影響を与えたことは「経済財政運営と改革の基本方針2014～デフレから好循環拡大へ～」（平成26年6月24日閣議決定）にみられる通りですが、これにより事業所のみならず経営母体である社会福祉法人が岐路に立たされたことは間違いありません。

こうして高齢者部門の新年度は、強烈な“向かい風”のなかでスタートを切る格好となりました。もとより深刻な人員不足で満身創痍のところこの逆風ですから、高齢者部門には非常に厳しい状況が続きます。

この難局を乗り越え、組織をよりよい方向に導けるかどうかは、当然ながら経営のあり方にかかっています。

国の示したヴィジョン——人生の最後まで尊厳をもって自分らしく暮らしていける社会の実現——が、福祉と介護を旗印とする本会高齢者部門の進むべき方角であるなら、たとえ険しくとも選ぶ道は限られてきます。

- 2) 穂の香の開設によって、本会の高齢者部門は、地域密着型特養、広域型特養、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援の計5事業（4施設）となり、従業員数は4月の時点で71名を数える大所帯になりました。穂の香を中心に今後さらに人員を増やす予定であり、最終的に総数は80名前後になるでしょう。この数はもちろんエリア別にみれば本会における事業としては最大規模となります。

利用者数は、穂の香が現在10名（定員29名、申込者数約30名）、柏松苑の長期入所が50名（待機者約130名）、同じくショートステイが定員10名（定期利用者が約30名）、デイサービスの定員は30名（実態は1日22名程度、定期利用者の母数は約80名）、谷山介護支援センターの利用者数は現在約80名程度（ケアマネジャーの担当制限数でみれば105名未満まで可能）となっています。

この数字でみると、各事業所の平均利用者数を足した計172を利用可能な最大人数の224で割った場合、事業全体の利用率が77%にとどまっていることがわかります。

過疎が進む人口わずか1万1千人の町で、近隣に次々と新たな受け皿（介護施設等）が建設されている状況下で、新規顧客を開拓し利用率を引き上げることがいかに困難であるかは身をもって経験しているところですが、それでもなお、利用率を向上させるための努力は経営改善の柱でなければなりません。

例えば、穂の香が29名満床になると、全体の利用率は85%まで上がります。さらにデイサービスの1日の平均利用者数を22名から25名に増やせた場合、全体利用率は87%となり、現状と比べて10%の増加が期待できます。そして居宅介護支援の利用者数を95名まで増やせば、全体の利用率は90%の大台に到達します。

むろんそれは、そう簡単なことではないし、なにより社会福祉事業は数字の多寡を第一目的にすべきではありません。利用率や収益は第一義ではなく、しかし仕事の結果を表わす具体的な現前に他ならないという点で仕事の良し悪しの指標となり、経営の目標となるものです。経営はそれを目印に仕事の質を管理し、改善のための行動を繰り返し、そのたゆまぬ努力がやがて利用率の向上に結びつく。こうした当たりまえの経済の仕組みを、努力せずとも顧客が減らない環境下では、つい忘れがちになってしまいます。

つまり、特養もデイも居宅介護支援も、ただ利用者を待っているだけでは生き残れない時代になったということです。いまの利用率が自分たちの仕事の結果であるのなら、組織としても個々としても仕事のクオリティを高める努力を続けなければ、たとえ少数の奮闘で一時上昇することがあったとしても、長い目でみれば利用率は上昇しないでしょう。

- 3) したがって、高齢者部門としては皆が原点に戻って「仕事の質の向上」に謙虚に取り組むことが今後の目標になります。しばしば、このありきたりな

標語は、専門的スキルを高めるという意味に特化して理解されがちですが、仕事の概念が個々のスキルのみで説明できないことはよく知られています。仕事には本来、マナーを守る、常識を学ぶ、身だしなみを整える、人間や社会についての知見を深める、誰に対しても好印象を与えるように努める、こまめに声をかけあう、効率よく業務をこなす、規律を守るなどという組織で働く社会人ならごく当然の姿勢や順守されるべき行動全般の意味が広く含まれています。

職種の別に関わらないこうした「共通の仕事」の質。この質を高めることが個々の資質や専門性を底上げする土台となり、良質なサービスを生み出す胎盤になるのです。

そこで問題になるのがその方法です。多様な人の集団である組織をまとめ、これを上手に動かし、望ましい方向に導くには（職員の数が多ければ多いほど）組織をマネジメントするための一定のフレームワークが不可欠になってきます。

それは、組織がもつ理念や価値観、戦略、財源、人材、スキル、教育ツール、社内システム、社風（組織風土）等の経営資源をコントロールし、生体内の細胞活動のように有機的かつ高度に凝縮された組織につくり変えていく手法です。

個々の職員が仕事の質を高め、もっている資質を存分に発揮できるかどうかは、この組織マネジメントにかかっているのであり、その仕事を担うのは主に施設長を筆頭とする管理職、主任職、リーダー職らの指導的立場の者たちです。

この目標設定は、組織の健全化を図りつつ、将来における地域包括ケアシステムのなかでの私たちの働きをも視野に入れた長期的なものです。

職場にせよ地域にせよ、その構成員たる人材の成長なしに理想の実現はありえないし、形だけのシステムをつくっても高齢者の尊厳を支えることはできません。だから柏松会は、いま目の前の「人」に対して、最善の仕事をし、最善の経営に注力する。その地道な努力が地域への確かな貢献になり、よりよい社会の礎になるはずです。

## II 事業目標

### 1. 高齢者福祉サービス部門の共通目標

#### 1) 利用率の向上と経営基盤の強化(合計利用率の目標値93%)

##### ① 目標値設定

ア. 柏松苑(長期)	目標値 98%
イ. 柏松苑(ショート)	目標値 110%
ウ. <u>デイサービス(通所介護)</u>	目標値 83%(1日平均利用者数25名)
エ. 谷山(居宅介護支援)	目標値 90%(利用者数95名)
オ. 穂の香(地域密着)	目標値 90%(ユニットの稼働数により変動)

##### ② 制度改正(特養要介護3以上限定)対応/平均介護度確認と指標設定

ア. 柏松苑(長期)	4.0 → 指標 4.5
イ. 柏松苑(ショート)	3.16 → 指標 4.0
ウ. <u>デイサービス(通所介護)</u>	2.63 → 指標 3.0
エ. 谷山(居宅介護支援)	2.65 → 指標 3.0
オ. 穂の香(地域密着)	3.5 → 指標 4.5

#### 2) 人材確保と人員数の管理

##### ① 柏松苑人員数(基本数)

ア. ケアワーカー	28名 (村田町介護人材育成対象を含めば29名)
イ. 看護師	4名 (うち2名はデイサービスと穂の香を兼務)
ウ. 相談系職員	3名
エ. 管理栄養士	1名
オ. 事務員(長含む)	4名
カ. その他(業務員等)	2名

柏松苑合計42名

##### ② デイサービス人員数 11名 (専従ケアワーカー数7名、パート含む)

##### ③ 谷山人員数 3名

##### ④ 穂の香人員数 22名 (ケアワーカー18名←残り12名)

#### 3) 地域包括ケアシステム/プラットフォーム形成に向けた取り組み

##### ① 地域包括ケアシステム推進ビジョンへの参画

##### ② 地域包括支援センター等の行政・事業主体との連携強化

##### ③ 地域保健医療機能との連携強化(地域医療会議への参加等)

##### ④ 地域の医療・介護・福祉の課題(地域課題)に関する調査研究

##### ⑤ 柏松会としての構想(資源・役割・機能等)の検討開始

#### 4) 社内システムの改善

- ① 合議システム(会議等)の再編成
- ② 社内規範の徹底と働きやすい職場づくり
- ③ 育成システムの見直し(OJTの効果的活用、内部研修の見直し等)
- ④ リスクマネジメントの見直し(事故報告の活用、予防対策委等)
- ⑤ 勤務労働日数の見直し(実態の公休日数を就業規則上の数に是正)
- ⑥ 冗費節減とコスト管理方法の見直し(光熱水費、消耗品等)

#### 5) 最も重要な人事課題の解決のための取り組み

- ① 組織風土の変革
- ② モチベーション向上
- ③ 能力開発・育成

### 2. 各施設の年度目標

#### 1) 特別養護老人ホーム柏松苑の年度目標

- ① 各部署主任職及びリーダー職の役割と権限の変更
- ② 部署会議(ケア、看護、給食、相談、事務)の定例化(月1開催)
- ③ 事故予防対策会議、感染症予防対策会議の定例化(月1開催)
- ④ 電子化による利用者情報管理方法(ケース記録、申し送り等)の見直し
- ⑤ ユニット住環境の改善(建物補修及びレイアウト変更等)
- ⑥ 優先入所判定基準の変更
- ⑦ ショートステイ空床利用方法の見直し

#### 2) 村田町デイサービスセンターの年度目標

- ① 稼働率向上への取り組み(広報活動等)
- ② 居宅介護支援事業所等の関係機関との協働・連携の強化
- ③ レクリエーションプログラムの抜本的見直し
- ④ 事故防止対策の点検と強化

#### 3) 谷山介護支援センターの年度目標

- ① 利用者数増加への取り組み(広報活動等)
- ② 関係機関との協働と連携の強化
- ③ 介護支援専門員としての資質の向上
- ④ インフォーマルな社会資源(ボランティア等)の開拓
- ⑤ 地域包括ケアシステム推進に係る居宅介護支援事業者の先進事例の研究

#### 4) 柏松苑別館穂の香の年度目標

##### ① 3ユニット稼働目標

- ア. 2ユニット目(風音)オープン 5月中旬
- イ. 3ユニット目(春日)オープン 8月頃まで

##### ② ユニットケアの推進

- ア. 24時間シートの活用(NDソフトほのぼのシリーズ)
- イ. 生活リズムや日課に関する方針の取り決め
- ウ. 生活環境づくり(家具の持ち込み等)に関する方針の取り決め
- エ. 給食・栄養ケアに関する方針の取り決め
- オ. 嗜好品(おやつ、飲酒等)に関する方針の取り決め
- カ. 看護ケアに関する方針の取り決め
- キ. 入浴に関する方針の取り決め

##### ③ 地域とのつながりを支援する取り組み

- ア. 外泊・外出・外食に関する方針の取り決め
- イ. 出前(外注食)や飲食物の持ち込みに関する方針の取り決め
- ウ. 外来者(家族、友人、業者、見学者等)の応対に関する方針の取り決め
- エ. 福祉用具(車いす等)の選定に関する方針の取り決め
- オ. 地域交流スペースの開放に関する方針の取り決め

##### ④ ユニットケアの実践を支える組織体制づくり

- ア. 理念の浸透と共有化の取り組み
- イ. 職務分掌と役割の確認(施設長、主任、ユニットリーダー、各職種)
- ウ. 連携とバックアップに関する方針の取り決め(本館との連携を含む)
- エ. よりよいコミュニケーションと情報伝達の仕組みづくり
- オ. 勤務に関する方針の取り決め
- カ. 稟議・決済・権限に関するルールを取り決め
- キ. ユニット費に関するルールを取り決め
- ク. 資材の出納・発注に関するルールを取り決め
- ケ. 職員の服装に関する方針の取り決め
- コ. 職員の休憩と食事場所に関する方針の取り決め
- サ. 言葉・用語に関する方針の取り決め

### III 行事・教養娯楽活動

#### 1. 特別養護老人ホーム柏松苑の行事予定

実施月	年間行事	その他のイベント
4月	お花見外出	桜御膳 誕生会食
5月	新緑ドライブ	野外食 誕生会食
6月	新緑ドライブ	フードキッチンカー 出前 石窯ピザ
7月	野外バーベキュー	七夕御膳
8月	夏まつり	夏祭り出店
9月	敬老会	敬老御祝い御膳 誕生会食
10月	芋煮会	ほてい祭り御膳
11月	紅葉ドライブ	郷土料理
12月	忘年会	忘年会バイキング食 餅つき
1月	新年会	おとそ振舞い おせち御膳
2月	節分豆まき	実演天ぷらの日
3月	ひなまつり	実演にぎり寿司食べ放題

月次行事	開催日	内容
ホーム喫茶	第2金曜日 PM 2:30	手作り和菓子、洋菓子、飲物の提供 場所:けやきリビング
ホーム居酒屋	第4金曜日 PM 2:00	お酒、おつまみ、カラオケを用意 場所:けやきリビング
移動売店 (丹野屋菓子店)	第4木曜日 PM 2:00	菓子類の販売 場所:さくらリビング
理髪サービス① (大沼パーマ)	第3木曜日 PM 2:00	出張理髪・整髪サービス(有料)
理髪サービス② (熊坂理髪店)	第4月曜日 PM 2:00	出張理髪・整髪サービス(有料)



## 2. 村田町デイサービスセンターの行事予定

実施月	行事	創作活動	レクリエーション(体操系、遊び系)
4月	お花見ドライブ	北国の春体操	365歩のマーチ
		こいのぼり(壁画)	お花見ゲーム
5月		北国の春体操	棒体操
		こいのぼり(壁画)	365歩のマーチ
6月		ゲートボール	座位極拳
		七夕飾り制作	2色返し
7月	夏祭り	ふわら ふわら	タオル体操
		七夕飾り制作	下肢筋力UP
8月			コップリレー大会
		福祉祭り小物作り	ベンチホッケー大会
9月	敬老会	キックボーリング	表情筋体操
		ストラップ作り	洗濯物ゲーム
10月		バトミントン大会	糸巻きゲーム
		ストラップ作り	水戸黄門体操
11月	紅葉ドライブ	ペットボトル体操	
		ひっじ(壁画)	上から下まで玉つき
12月	忘年会	村田幼稚園慰問	沼辺幼稚園慰問
		ひっじ(壁画)	村田保育所慰問
1月	新年会	新春人間すごろく	新春カルタ取り大会
		ひっじ(壁画)	羽子板大会
2月	節分豆まき	糸巻きゲーム	ボーリング
		スリッパポイポイ	
3月	ひな祭り	北国の春体操	水戸黄門体操
		こいのぼり(壁画)	テーブルホッケー

### 3. 柏松苑別館穂の香の行事予定

実施月	年間行事	その他のイベント
4月	お花見外出	桜御膳 誕生会食
5月	新緑ドライブ	野外食 誕生会食
6月	新緑ドライブ	フードキッチンカー 出前 石窯ピザ
7月	野外バーベキュー	七夕御膳
8月	夏まつり	夏祭り出店
9月	敬老会	敬老御祝い御膳 誕生会食
10月	芋煮会	ほてい祭り御膳
11月	紅葉ドライブ	郷土料理
12月	忘年会	忘年会バイキング食 餅つき
1月	新年会 餅つき	おとそ振舞い おせち御膳
2月	節分豆まき	実演天ぷらの日
3月	ひな祭り	実演にぎり寿司食べ放題

月次行事	開催日	内容
茶話会	第2水曜日 PM 2:30	出入り自由なお茶会、誰でも参加可 場所:地域交流スペース
居酒屋	毎週金曜日 PM 2:30	お酒、おつまみ、カラオケを用意 場所:地域交流スペース
移動売店 (丹野屋菓子店)	第4木曜日 PM 2:00	菓子類の販売 場所:地域交流スペース
理髪サービス① (大沼パーマ)	第3木曜日 PM 2:00	出張理髪・整髪サービス(有料) 場所:居室
理髪サービス② (熊坂理髪店)	第4月曜日 PM 2:00	出張理髪・整髪サービス(有料) 場所:居室

## IV 会議・委員会活動

### 1. 高齢者福祉サービス部門の合同会議・委員会

名称	開催日	形態	議長	参加者
運営会議	第1金曜日	定期	飯野	長・管理者・主任職
施設ケア合同会議	4半期毎	不定期	鈴木香	柏松苑・穂の香職員
地域包括ケア推進委員会	随時	不定期	飯野	相談系職員

### 2. 特別養護老人ホーム柏松苑の会議・委員会

名称	開催日	形態	議長	参加者
施設ケア会議 ・事故予防対策会議 ・認知症ケア委員会	第4火曜日	定期	鈴木香	施設長 ケアワーカー
看護会議 ・感染症予防対策会議	第2火曜日	定期	沼倉	施設長 看護師、栄養士
給食会議	第1火曜日	定期	佐藤ち	施設長、栄養士他
相談援助会議	第2木曜日	定期	佐藤夕	施設長、相談員他
事務会議	第3火曜日	定期	相馬	施設長、事務員他
ケアカンファレンス	1・3水曜日	定期	朝倉	ケアマネジャー他
リーダー会議	第2金曜日	定期	森	主任、リーダー
ユニットミーティング	木曜日	定期	リーダー	ユニット職員
入居判定会議	随時	不定期	佐藤夕	施設長、相談員他
行事企画会議	随時	不定期	渡邊雪	相談員、ケア主任他
苦情解決サービス会議	随時	不定期	飯野	施設長、相談員他

### 3. 村田町デイサービスセンターの会議・委員会

名称	開催日	形態	議長	参加者
デイサービス会議 ・通所介護計画策定会議 ・事故予防対策会議 ・感染症予防対策会議	第3火曜日	定期	鈴木杉山	管理者、主任 デイサービス職員
レクリエーション会議	第2金曜日	定期	平間	ケアワーカー他

#### 4. 谷山介護支援センターの会議

名称	開催日	形態	議長	参加者
谷山会議	第3木曜日	定期	高橋	谷山職員
週ミーティング	毎週月曜日	定期	高橋	谷山職員

#### 5. 柏松苑別館穂の香の会議

名称	開催日	形態	議長	参加者
リーダー会議	第4月曜日	定期	萱場	長、主任、リーダー
ユニットミーティング	毎週月曜日	定期	リーダー	ユニット職員
ケアカンファレンス	2・4水曜日	定期	萱場	ケアマネジャー他
事故予防対策会議	第4木曜日	定期	河本	各職種代表者
感染症予防対策会議	第2水曜日	定期	松野尾	看護師他
運営推進会議	未定	不定期	飯野	町内会代表者等

#### 6. 月次定例会議スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第1週	谷山 週ミーティング	柏松苑 給食会議			
	みずほ ミーティング		柏松苑 カンファレンス	さくら ミーティング	運営会議
第2週	谷山 週ミーティング	柏松苑 看護会議	穂の香 感染症会議	柏松苑 相談援助会議	柏松苑 リーダー会議
	かざね ミーティング		穂の香 カンファレンス	けやき・かえで ミーティング	デイ レク会議
第3週	谷山 週ミーティング	柏松苑 事務会議		谷山会議	
	はるひ ミーティング	デイ会議	柏松苑 カンファレンス	ショートユニット ミーティング	
第4週	谷山 週ミーティング	柏松苑 施設ケア会議			
	穂の香 リーダー会議		穂の香 カンファレンス	穂の香 事故予防会議	

## V 教育・研修・訓練

### 1. 高齢者福祉サービス部門の合同研修

研修名・講師	予定月	研修テーマ
新任(現任)研修 (飯野隆敬)	27年5月	介護保険サービスの基礎知識、介護保険制度の仕組み、遵守事項の説明など
幹部研修:スーパービジョン (飯野隆敬)	27年7月	スーパービジョン演習、リーダーシップ論、人材マネジメント論、経営論(ドロッカー)
幹部研修:地域包括ケア (飯野隆敬)	27年12月	地域包括ケアシステム、人の望む暮らし、わが町(ご当地)ケア、団塊の世代等
専門研修:感染症・食中毒予防 (沼倉伸子)	27年9月	結核、ノロ、インフルエンザ、O157、MRSA、疥癬など、感染症・食中毒予防のハウツー
専門研修:リスクマネジメント (鈴木香代)	27年11月	リスクマネジメント総論、事故発生の機序、よくあるヒヤリ・ハット、訴訟事例など

### 2. 特別養護老人ホーム柏松苑の研修・訓練

研修名・講師	予定月	研修テーマ
新任(現任)研修 (鈴木香代、佐藤留美子)	27年5月	施設ケアのあり方、職務心得、チームワーク、多職種協働、不適切マナー、感情労働など
専門研修:ユニットケア (森賢治、佐藤貴志)	27年6月	ユニットケアの理念、暮らしの継続性の支援、施設ケアの歴史、ケアワークの役割など
専門研修:倫理・モラル (飯野隆敬)	27年7月	法人理念・クレドの解説、ソーシャルワークの倫理、個人情報保護、身体拘束ゼロなど
専門研修:看取りのケア (沼倉伸子)	27年8月	ターミナルケア、緩和(バリエーション)ケア、デス・エデュケーションなど
専門研修:事故防止対策 (鈴木香代、佐藤留美子)	27年9月	リスクマネジメント総論、事故発生の機序、よくあるヒヤリ・ハット、訴訟事例など
専門研修:感染症・食中毒予防 (沼倉伸子、佐藤ちづ子)	27年10月 —12月	結核、ノロ、インフルエンザ、O157、MRSA、疥癬など、感染症・食中毒予防のハウツー
専門研修:認知症ケア (鈴木香代、佐藤留美子)	28年1月	認知症の特性、認知症ケアの基本、事例検討、コミュニケーション論、バリデーション

消防訓練:総合避難訓練 (鈴木香代、佐藤留美子)	27年6月	火災発生時の通報、避難誘導、消火訓練 日中の火災発生を想定
消防訓練:夜間想定避難訓練 (鈴木香代、佐藤留美子)	27年10月	夜間の火災発生を想定した避難誘導訓練 夜勤者・宿直者を選抜
救命訓練:救急救命 (鈴木香代、佐藤留美子)	27年8月	人工呼吸、心臓マッサージ等の心肺蘇生法 の現地訓練

### 3. 村田町デイサービスセンターの研修・訓練

研修名・講師	予定月	研修テーマ
新任(現任)研修 (鈴木香代、杉山真紀)	27年5月	通所サービスの基礎知識、介護保険制度の仕組み、遵守事項の説明など
専門研修:倫理・モラル (飯野隆敬)	27年7月	法人理念・クレドの解説、ソーシャルワークの倫理、個人情報保護、身体拘束ゼロなど
専門研修:事故防止対策 (鈴木香代、杉山真紀)	27年9月	リスクマネジメント総論、事故発生の機序、よくあるヒヤリ・ハット、訴訟事例など
専門研修:感染症・食中毒予防 (沼倉伸子、佐藤ちず子)	27年11月 —12月	結核、ノロ、インフルエンザ、O157、MRSA、疥癬など、感染症・食中毒予防のハウツー
専門研修:認知症ケア (平間里美、大槻貴美子)	28年1月	認知症の特性、認知症ケアの基本、事例検討、コミュニケーション論、バリデーション

消防訓練:総合避難訓練 (鈴木香代、杉山真紀)	27年6月	火災発生時の通報、避難誘導、消火訓練 日中の火災発生を想定
消防訓練:夜間想定避難訓練 (鈴木香代、杉山真紀)	27年10月	夜間の火災発生を想定した避難誘導訓練 夜勤者・宿直者を選抜
救命訓練:救急救命 (鈴木香代、杉山真紀)	27年8月	人工呼吸、心臓マッサージ等の心肺蘇生法 の現地訓練

### 4. 谷山介護支援センターの研修・訓練

研修名・講師	予定月	研修テーマ
新任(現任)研修 (高橋幸子)	27年5月	居宅介護支援の基礎知識、介護保険制度の仕組み、遵守事項の説明など
専門研修:倫理・モラル (飯野隆敬)	27年7月	法人理念・クレドの解説、ソーシャルワークの倫理、個人情報保護、身体拘束ゼロなど
個別研修		
・地域包括ケアシステム	5月	地域包括ケアシステムの概要、課題、論点
・ソーシャルワーク概論	7月	ソーシャルワークの倫理、目的、視点など
・ケアマネジメント概論	9月	ケアマネジメントの役割、意義などの確認
・カウンセリング	10月	マイクロカウンセリング等の基礎知識の習得
・ケーススタディ(困難事例)	12月	困難事例の検討、ケアマネジメントのあり方
・事故・災害発生時の対応 (高橋幸子)	2月	事故発生時、災害発生時の対応など

## 5. 柏松苑別館穂の香の研修・訓練

研修名・講師	予定月	研修テーマ
新任(現任)研修 (萱場千恵子、河本智恵)	27年5月	施設ケアのあり方、職務心得、チームワーク、多職種協働、不適切マナー、感情労働など
専門研修:ユニットケア (佐久間厚子、渡邊光)	27年6月	ユニットケアの理念、暮らしの継続性の支援、施設ケアの歴史、ケアワークの役割など
専門研修:倫理・モラル (飯野隆敬)	27年7月	法人理念・クレドの解説、ソーシャルワークの倫理、個人情報保護、身体拘束ゼロなど
専門研修:看取りのケア (沼倉伸子)	27年8月	ターミナルケア、緩和(パリアティブ)ケア、デス・エデュケーションなど
専門研修:事故防止対策 (萱場千恵子、河本智恵)	27年9月	リスクマネジメント総論、事故発生の機序、よくあるヒヤリ・ハット、訴訟事例など
専門研修:感染症・食中毒予防 (沼倉伸子、佐藤ちず子)	27年11月 —12月	結核、ノロ、インフルエンザ、O157、MRSA、疥癬など、感染症・食中毒予防のハウツー
専門研修:認知症ケア (相原直美、大沼ゆかり)	28年1月	認知症の特性、認知症ケアの基本、事例検討、コミュニケーション論、バリデーション

消防訓練:総合避難訓練 (飯野隆敬、河本智恵)	27年6月	火災発生時の通報、避難誘導、消火訓練 日中の火災発生を想定
消防訓練:夜間想定避難訓練 (飯野隆敬、河本智恵)	27年10月	夜間の火災発生を想定した避難誘導訓練 夜勤者・宿直者を選抜
救命訓練:救急救命 (萱場千恵子、河本智恵)	27年8月	人工呼吸、心臓マッサージ等の心肺蘇生法 の実地訓練

ユニットケアに関する研修では、日本ユニットケア推進センターが監修した各種教材(テキスト、DVD等)を使用します。またユニットリーダー研修に参加した職員が中心になってスタッフと対話しながらチームの共通理解を深めていくグループワークやワークショップの手法を取り入れます。

## 6. 高齢者福祉サービス部門の防災管理体制(予防管理組織)

管理権原者	防火管理者	防火担当責任者	火元責任者	防火担当区域			
柏松会理事長 早坂 椒子	柏松苑・穂の香施設長 飯野 隆敬	柏松苑	事務室	事務主任 相馬千佳子	事務員 庄司由美子	施設長室 宿直室 更衣室 職員休憩室 車庫 東ボイラー室	事務室 会議室 トイレ×2 書庫 倉庫 西ボイラー室
			厨房	管理栄養士 佐藤ちづ子	栄養士(魚国) 丸山亜衣	厨房 調理員休憩室	配膳室 倉庫
			各居室等	ケア副主任 佐藤留美子 相談員 佐藤夕子 渡邊雪子 朝倉 香	リーダー 森 賢治 佐藤貴志 小林絵理奈	各居室 トイレ×9 浴室×2 倉庫 私物庫 リネン室	ホール×4 介護材料室 脱衣所×2 キッチン×3 洗濯場
			医務	看護師主任 沼倉伸子	看護師 小原恵里	医務室	静養室
			谷山	管理者 高橋幸子	ケアマネジャー 水戸倫代	谷山事務室 谷山書庫	谷山相談室
			村田デイ	管理者 鈴木香代	センター主任 杉山真紀	食堂ホール 機能訓練室 事務室	静養室 相談室 トイレ×3
			穂の香	相談員 河本智恵	相談員 河本智恵	事務室 書庫 相談室 トイレ×3 資材庫 廃棄物置場(屋外)	地域交流スペース 宿直室 休憩室 倉庫 男女更衣室×2
			厨房	管理栄養士 本田真理恵	管理栄養士 本田真理恵	厨房 トイレ×1	更衣室
			ユニット	ケア主任 萱場千恵子	リーダー 佐久間厚子 渡邊 光	各居室 トイレ×9 脱衣室 談話コーナー リネン室×2	各リビング 介護材料室 浴室 介護ステーション 廃棄室×2
			医務	看護師 松野尾京子	看護師 松野尾京子	医務室	感染性医療廃棄物置場(屋外)